

職業実践専門課程の基本情報について

平成28年10月1日現在

学 校 名		設置認可年月日	校 長 名		所 在 地	
国際医療福祉専門学校 七尾校		平成19年3月27日	宇野 弘之		〒926-0816 石川県七尾市藤橋町西部1番地 (電話) 0767-54-0177	
設 置 者 名		設立認可年月日	代 表 者 名		所 在 地	
学校法人 阿弥陀寺教育 学園		昭和61年3月17日	宇野 弘之		〒290-0011 千葉県市原市能満字崩山1554-4 (電話) 043-208-1600	
目 的	本校作業療法学科は、地域包括ケアシステムの中で積極的に地域住民と関わることによって、地域社会の発展に貢献できる専門職を育成する。また、世界作業療法士連盟において、「作業療法士は作業を通して健康と幸福な生活の推進に関わる職業である。作業療法の主目標は、人々が日々の生活の営みに参加できるようになることである。作業療法士は、こうした成果を達成するために、人々が自らの参加能力の向上をもたらすような事柄に取り組めるように働きかけたり、参加をよりよく支援するための環境整備を行ったりする」と定義されており、対象者と密接に関わりながら対象者の生活能力を最大限に発揮していくための活動を提案する能力、対象者がその人らしく生活を送っているように仕事・社会・個人・家庭等の環境因子を調整する能力を養うことを目的とする。					
分野	課 程 名	学 科 名	修業年限 (昼、夜別)	全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数	専門士の付与	高度専門士の付与
医療	医療専門課程	作業療法学科	3年(昼)	3045 時間 (120 単位)	平成21年文部科学省 告示第21号	—
教育課程		講義	演習	実験	実習	実技
		1395 時間 (74 単位)	0 時間 (0 単位)	0 時間 (0 単位)	1650 時間 (46 単位)	0 時間 (0 単位)
生徒総定員		生徒実員		専任教員数	兼任教員数	総教員数
105 人		28 人		3 人	29 人	32 人
学期制度	■前期： 4月1日～9月30日 ■後期： 10月1日～3月31日			成績評価	■成績表 (☑有・無) ■成績評価の基準・方法について 各学期末に行う試験、実習の成果、履修状況等を総合的に勘案して行う。ただし、出席時数が授業時数の3分の2(実習においては5分の4)に達しない者は、その科目については評価を受けることができない。	
長期休み	■学年始め：4月4日 ■夏 季：8月13日～8月31日 ■冬 季：12月25日～1月3日 ■学 年 末：3月4日～4月3日			卒業・進級 条件	全科目単位認定(120単位、3045時間)を受け、かつ校長が卒業を認めたもの。	
生徒指導	■クラス担任制 (☑有・無) ■長期欠席者への指導等の対応 定期的に面談を実施し、長期欠席時においても学生の状況等の把握に努め、学生の課題の解決への支援を行っていく。			課外活動	■課外活動の種類 ボランティア活動、地域交流活動 ■サークル活動 (☑有・無)	

主な就職先	■主な就職先、業界 病院、障害福祉サービス事業所 ■就職率*¹ 100 % ■卒業者に占める就職者の割合*² 100 % (平成27年度卒業生に関する平成26年6月時点での情報)	主な資格・検定	作業療法士国家試験受験資格 初級障害者スポーツ指導員資格
中途退学の現状	■中途退学者 5 名 ■中退率 14.3 % 平成25年 4月 1日在学者 46 名 (平成25年 4月入学者を含む) 平成26年 3月31日在学者 44 名 (平成26年 3月卒業生を含む) 平成27年 3月31日在学者 38 名 (平成27年 3月卒業生を含む) ■中途退学の主な理由 成績不振、就職希望、精神不安定 ■中退防止のための取組 <ul style="list-style-type: none"> ・入学後早期の合同合宿などの行事による学生間交流の促進を図る ・年5回(4月、6月、9月、11月、2月)の定期的な学生個人面談の実施による密な学生把握 ・作業療法4領域の施設見学による学習モチベーションの向上を図る 		
ホームページ	URL: http://www.kifs-nanao.ac.jp/		

* 1 「大学・短期大学・高等専門学校及び専修学校卒業予定者の就職（内定）状況調査」の定義による。

- ① 「就職率」については、就職希望者に占める就業者の割合をいい、調査時点における就職希望者数で除いたものとする。
- ② 「就職率」における「就職者数」とは、正規の職員（1年以上の非正規の職員として就職した者を含む）として最終的に就職した者（企業等から採用通知などが出された者）をいう。
- ③ 「就職率」における「就職希望者」とは、卒業年度中に就職活動を行い、大学卒業後速やかに就職することを希望する者をいい、卒業後の進路として「進学」「自営業」「家事手伝い」「留年」「資格取得」などを希望する者は含まない。

* 「就職（内定）状況調査」における調査対象の抽出のための母集団となる学生等は、卒業年次に在籍している学生等としている。ただし、卒業の見込みのない者、留学生、聴講生、科目等履修生、研究生及び夜間部、医学科、史学科、獣医学科、大学院、専攻科、別科の学生は除いている。

* 2 「学校基本調査」定義による。

全卒業生数のうち就職者総数の占める割合をいう。

「就職」とは給料、賃金、報酬その他経常的な収入を得る仕事に就くことをいう。自家・自営業に就いた者は含めるが、家事手伝い、臨時的な仕事に就いた者は就職者としてしない（就職したが就職先が不明の者は就職者として扱う。）

1. 教育課程の編成

(教育課程の編成における企業等との連携に関する基本方針)

本校の教育理念は、教育基本法及び学校教育法に基づき専修学校教育を行い、専門職として必要な知識及び技能を教授し、社会に貢献できる人材を育成することである。作業療法学科は、上記の教育理念に則り、現状に沿った最新の専門知識・技術等の習得、地域社会を視野に入れた専門性の獲得を目的として非常勤講師の専門授業や臨床現場での学外授業を積極的に展開するとともに、学生の勉学に対する内発的動機を高められる授業内容・方法の検討を基本方針とする。

(教育課程編成委員会等の全委員の名簿)

平成 28 年 10 月 1 日現在

名 前	所 属
三和勘太	国際医療福祉専門学校七尾校・副校長
嶋崎貴士	国際医療福祉専門学校七尾校・作業療法学科長
金安誠	国際医療福祉専門学校七尾校・作業療法学科専任教員
今井伸戸	国際医療福祉専門学校七尾校・作業療法学科専任教員
今寺忠造	社会福祉法人徳充会・常務理事（石川県作業療法士会顧問）
宮崎哲也	医療法人社団生生会 えんやま健康クリニック デイケアセンターすこやか・センター長

(開催日時)

第 1 回教育課程編成委員会	平成 28 年 7 月 28 日 16:00~17:40	実施
第 2 回教育課程編成委員会	平成 29 年 2 月 28 日 16:00~17:30	実施予定

2. 主な実習・演習等

(実習・演習等における企業等との連携に関する基本方針)

現状に沿った最新の専門知識・技術等の習得、臨床現場を想定した応用力の習得、臨床現場や対象者との関わりをとおした臨床イメージの構築の機会を学生へ提供できるように、病院・施設との連携を密におこなっていく。

科 目 名	科 目 概 要	連 携 企 業 等
臨床見学実習	作業療法が行われている病院・施設を見学し、職業人としての準備性と専門職として意欲的に取り組む姿勢を習得する。	輪島病院、富来病院、金沢大学附属病院、恵寿総合病院、公立能登総合病院 他
臨床評価実習	作業療法評価を 4 週間の臨床実習を通して包括的に体験し習得する。	七尾病院、金沢西病院、和光苑、金沢西病院、恵寿総合病院 他
総合臨床実習Ⅰ	作業療法評価および治療技術を 8 週間の臨床実習を通して包括的に体験し習得する。	金沢大学附属病院、浜野西病院、公立羽咋病院、町立富来病院、七尾松原病院 他
総合臨床実習Ⅱ	作業療法評価および治療技術を 8 週間の臨床実習を通して包括的に体験し習得する。	恵寿総合病院、公立能登総合病院、済生会金沢病院、石川県立高松病院、常願寺病院 他

3. 教員の研修等

(教員の研修等の基本方針)

本校の職員研修規程は、国際医療福祉専門学校七尾校就業規則第 8 6 条の規定に基づき、職員に現在就いている職又は将来就くことが予想される職の職務と責任の遂行に必要な知識、技能等を修得させ、その他その遂行に必要な職員の能力、資質等を向上させることを目的とする。また、研修の効果を高めるために計画的な研修実施及び研修報告をおこない、職員全体の自己啓発の意欲の向上を図る。

4. 学校関係者評価

(学校関係者評価委員会の全委員の名簿)

平成28年10月1日現在

名 前	所 属
中川忠司	七尾市役所 健康福祉部福祉課 次長
奥井敦士	社会福祉法人七尾市社会福祉協議会
椿原達也	医療法人社団持木会 柳田温泉病院 (理学卒業生、同窓会長)
伊藤邦夫	理学保護者、後援会長
橋向正人	公立能登総合病院 (理学卒業生)
加藤孝之	富来病院 (作業卒業生、同窓会副会長)
大松大洋	各務原市消防 (救命卒業生)
法葉未来	公立つるぎ病院 (介護卒業生)

(学校関係者評価結果の公表方法)

URL:<http://www.kifs-nanao.ac.jp/>

5. 情報提供

(情報提供の方法)

URL:<http://www.kifs-nanao.ac.jp/>

授業科目等の概要

(医療専門課程作業療法学科) 平成 25 年度										
分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業時数	単位数	授業方法		
必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技
○			基礎数学	基礎数学を通して作業療法・理学療法に必要な力学的分野を中心に講義を行う。また、日常生活における物体間の相互作用、物体の持つエネルギー、物体における力のつりあいの理解習得及び演習に重点を置く。	1 前	15	1	○		
○			生物学	細胞のしくみから代謝に至るまで人体の働きは多岐に渡り、広くその知識を得るために、細胞を中心にヒトのしくみの理解と習得を目的とする。	1 前	15	1	○		
○			ボランティア論	ボランティアに関する基本的な知識を深め、医療・介護におけるその役割と意義を理解する。さらにボランティア活動、また、それを受け入れる場合の双方の立場から、必要な教育や組織運営のあり方などを学習する。	1 前	15	1	○		
○			人間関係論	コミュニケーションの技術について、講義及びグループワークを通じて学習する。	1 前	15	1	○		
○			心理学入門	人間の心のしくみと行動を通して、人間理解の基礎を学ぶ。	1 前	15	1	○		
○			教育学	職業人として、必要な情報を収集・判断・表現・処理・創造し、受け手の状況などを踏まえて伝達できる能力を身につける。	1 前	15	1	○		
○			英語会話	様々なテーマについて、賛成、反対の英語表現を学ぶとともに、自分の意見をまとめ、相手の意見を理解する練習を通して、ディスカッションやディベートができるようにする。	1 前	30	2	○		
○			医学英語	臨床で使われている医学用語を学ぶ。	1 後	15	1	○		
○			情報科学	基本的なパソコンの設定から電子メール、ワープロ、表計算、プレゼン等のアプリケーションソフトの使い方を学び、電子カルテの基本的な操作まで学ぶ。基本的なマナーを確認しながら授業を進める。	1 前	30	2	○		

○			運動科学	人間にとって運動の必要性とスポーツがからだに働きかけてその能力を考えていく知識、方法等を科学的な事実を通して学んでいく。	1 前	30	2	○		
○			運動科学実習	生活に必要な基礎体力を養い、運動する上での必要な持久力、スピード、筋力を高める。また、運動を通して協調性を養い、円滑な人間関係を築くことができるように授業を実施する。	1 後	45	1			○
		○	公務員試験対策講座	最近の出題傾向を中心に地方初級試験に的を絞り着実に実力が付くよう概説する。	2 後 3 前	60	4	○		
○			解剖学Ⅰ	内臓学、感覚器を中心とした身体の構造を学ぶ。随時、小テストおよび単元別テストを実施し、段階的に学習状況を確認していく。	1 前	60	4	○		
○			解剖学Ⅱ	末梢神経や中枢神経など神経の構造と仕組みについて学ぶ。随時、小テストおよび単元別テストを実施し、段階的に学習状況を確認していく。	1 後	30	2	○		
○			解剖学実習	骨学、関節靭帯学、筋学を中心とした身体の構造を学ぶ。常に他の機能との関連性を念頭におき、人体模型を使つてのイラスト・スケッチを行う。また、触診、単語帳作成をとおして解剖学的知識を深める。	1 後	60	2			○
○			生理学	人体機能のメカニズムについて理解を深め、リハビリテーションに必要な生理学の基礎知識を学ぶ。	1 前	60	4	○		
○			生理学実習	生理学の講義で得た知識を各実習によってより深めることを目的とする。実習内容は班毎に分かれて心電図、バイタル測定、表在感覚・深部感覚、呼吸機能検査、運動神経伝導速度・深部反射・筋電図の各課題を遂行する。	1 後	60	2			○
○			運動学	運動に関する原理・理論を理解し、身体の構造と機能の知識を深める。また、運動学で得た知識を用いて運動障害の分析ができるように授業を展開する。	1 前	30	2	○		
○			運動学実習	実習内容は班毎に分かれて、生体観察と機能解剖学、生体力学の基礎と筋力、運動分析と運動学的分析、姿勢、着衣動作分析の5つ課題を遂行する。正確な観察とデータの収集をして、実習結果を科学的な報告書としてまとめる。	1 後	60	2			○
○			臨床心理学	障害者自身の心理的問題、治療自体に内在する心理的問題や介護家族に関する心理的問題を理解する。	2 前	30	2	○		

○		人間発達学	胎児期から老年期に至る発達段階について身体的、知的、情緒的、社会的な側面等様々な角度から理解し、理学療法、作業療法を行ううえでの参考となるよう検討していく。	1 前	15	1	○		
○		保健医療福祉概論	日本国の社会保障制度や社会福祉制度について理解する。	1 後	15	1	○		
○		リハビリテーション概論	リハビリテーションはその中で高齢社会における社会的関心から、科学技術の高度な発展から、ともに影響を免れ得ない。そのような中でのリハビリテーションについて学習する。	1 前	15	1	○		
○		リハビリテーション医学	リハビリテーション医学の基礎を修得する。	1 後	15	1	○		
○		内部障害学	専門職に必要な内科学的知識について学ぶ。	2 前	15	1	○		
○		骨関節障害学	医療専門職に必要な整形外科的知識を、各論を通して病態と診断、治療について学ぶ。	2 前	30	2	○		
○		神経筋障害学	疾病の原因および形態的变化を、主要疾病と関連させながら基本的内容について学ぶ。	2 前	30	2	○		
○		発達障害学	小児疾患の理解に必要な、基本的な症候や疾患の知識について学ぶ。	2 前	15	1	○		
○		病理学	疾病の原因および形態的变化を、主要疾病と関連させながら基本的内容について学ぶ。	2 前	30	2	○		
○		精神障害学	疾病の原因および形態的变化を、主要疾病と関連させながら基本的内容について学ぶ。	2 前	15	1	○		
○		画像診断学	画像診断を行うための様々な検査法（単純・造影X線写真、CT、MRI、超音波検査、血管撮影など）の原理と臨床応用の実際について学ぶ。	2 後	15	1	○		
○		薬理学	薬物作用、作用機序、治療的応用性などを明らかにすることによって、薬物治療における適切な医薬品の選択、適正な用法の基礎を理解すること。	2 前	15	1	○		

○			作業療法学概論	作業療法とは、実際にどのような仕事をする専門職なのか、どのような対象者に行われるのか、その業務、役割について学ぶ。	1 前	15	1	○		
○			基礎作業療法学	作業療法士にとって必須の知識である作業活動について学ぶことにより、作業療法導入の一連の流れを理解する。	1 前	30	2	○		
○			基礎作業療法学 実習	作業活動を通して、作業活動の方法、準備・企画、段階付け、心身への影響や機能的効果について学ぶ。また、学んだ作業活動を学校外部で高齢者や施設入所者を実施する。	1 後	90	3			○
○			作業分析学	臨床実習に必要な動作分析や作業分析を行う。	2 後	15	1	○		
○			作業療法学セミナーⅠ	身体障害領域における評価実技について、被験者となることでその基礎を学ぶ。また、屋根瓦方式のグループワークにおいては、一般市民に対する作業療法の紹介についてまとめる。	1 後	30	1			○
○			作業療法学セミナーⅡ	身体障害領域における評価実技について、被験者となることでその基礎を学ぶ。また、屋根瓦方式のグループワークにおいては、一般市民に対する作業療法の紹介についてまとめる。	2 前後	60	2			○
○			作業療法学セミナーⅢ	作業療法評価の考え方や計測方法を実践的に学ぶ。臨床評価実習で挙げた治療プログラムを実演し、治療方法、段階付け、動機づけについて学ぶ。	3 前	30	1			○
○			作業療法研究方法論	作業療法研究の基礎知識を学ぶとともに、研究の意義に対しての各自の考えを導き出す。	3 前	45	3	○		
○			作業療法管理運営学	病院、施設での診療報酬や業務管理についての基本的知識を身につける。	3 前	15	1	○		
○			身体機能評価学	作業療法実践における評価の流れを ICF 概念に沿って理解する。身体障害における疾患別評価方法を学習し、評価演習の基礎を習得する。	2 前	30	1	○		
○			精神機能評価学	作業療法実践における評価の流れを ICF 概念に沿って理解する。精神科作業療法の理論・モデル・関連療法を理解する。	2 前	30	1	○		
○			身体機能評価学 実習Ⅰ	解剖、生理、運動学で学んだ基本的知識を基に、体の各部位の触診と大まかな評価方法を知る。	1 後	30	1			○

○		身体機能評価学 実習Ⅱ	身体機能評価について理解を深め、各疾患の特性に合わせた評価方法を学ぶ。	2 前	30	1			○
○		身体機能評価学 実習Ⅲ	ICFによる全体像の把握、統合と解釈、問題点の抽出、目標設定、治療プログラム立案までケーススタディによる演習を行う。また、各評価項目における評価法の演習を行う。	2 後	30	1			○
○		精神機能評価学 実習	ICFによる全体像の把握、統合と解釈、問題点の抽出、目標設定、治療プログラム立案までケーススタディによる演習を行う。	2 後	30	1			○
○		コミュニケーション実習	面接練習としてCOPMの理論を理解し実践し、コミュニケーションスキルの向上をはかる。	2 後	30	1			○
○		義肢装具学	義肢装具の基礎知識を身につけ、作業療法士としてのチェックポイントをしっかりと押さえる事ができるよう講義していく。	1 後	30	1	○		
○		義肢装具学実習	実際に、義肢や装具を使用して、チェックポイントを理解できるようにする。上肢装具および自助具の作成を行う。	2 前	30	1			○
○		発達作業療法学	発達障害領域における主な対象疾患に対する作業療法実践の流れを講義する。具体的な疾患・障害特性を学習することにより、発達障害領域における主な対象疾患に対する作業療法実践の流れを習得する。	2 前	30	1	○		
○		発達作業療法学 実習	具体的な疾患・障害特性を学習することにより、発達障害領域における主な対象疾患に対する作業療法実践の流れを実習により習得する。	2 後	60	2			○
○		骨関節作業療法学	脊髄損傷および手の外科、関節リウマチを対象とした作業療法実践の流れを講義するとともに、各種評価手技の基礎演習を行う。また、内部障害に対する作業療法について講義する。	2 前	60	2	○		
○		骨関節作業療法学 実習	運動器系身体障害の作業療法における評価手技を習得する。各対象疾患における基本的な作業療法アプローチ・治療方法を習得する。グループワークにて疾患ごとに評価マニュアルを作成し発表する。	2 後	60	2			○
○		中枢神経作業療法学	身体障害領域における主な対象疾患である脳血管障害、パーキンソン病、神経難病に対する作業療法実践の流れを講義する。各対象疾患における基本的な作業療法アプローチ・治療方法を習得する。	2 前	60	2	○		

○		中枢神経作業療法学実習	中枢神経障害の作業療法における評価手技を習得する。 各対象疾患における基本的な作業療法アプローチ・治療方法を習得する。	2 後	60	2			○
○		精神作業療法学	障害とリハビリテーション・作業療法の関係について、精神障害者に関する歴史と法律を理解する。また、施設、実施形態と治療・援助内容について理解する。	2 前	30	1	○		
○		精神作業療法学実習	精神科治療構造論と精神科領域で治療として用いられるケースマネジメントと SST について講義する。各疾患に対する精神科領域における作業療法治療をまとめる。	2 後	60	2			○
○		高齢期作業療法学	高齢者の心理および身体特性やライフステージにおける位置づけなど、老年期障害作業療法の実践に必要な基礎知識と評価技術の習得を目指す。さらに認知症に対する理解と作業療法実践について学習していく。	2 前	30	1	○		
○		高齢期作業療法学実習	老年期障害に対する作業療法実践のしくみを理解し、それらに基づき治療計画立案～プログラムの実施を習得する。レクリエーションの理論に基づいたレクリエーション実習を行う。	2 後	60	2			○
○		高次脳機能作業療法学	高次脳機能障害にみられる主な症状を講義し、それらに対する作業療法介入方法を学習する。高次脳機能障害に対する治療実践の流れを主な症状別に学習する。	2 前	30	1	○		
○		高次神経障害作業療法学実習	高次神経障害にみられる主な症状を講義し、それらに対する作業療法介入方法を学習する。高次神経障害に対する治療実践の流れを主な症状別に学習する。おもな評価バッテリーを演習する。	2 後	30	1			○
○		日常生活活動学	日常生活活動の概念と作業療法の役割について学び、日常生活活動別に障害者の抱える問題点と援助の視点を学習する。	1 後	60	2	○		
○		日常生活活動学実習	主要な疾患別にその日常生活活動の評価・治療・援助の実際について演習する。脊髄損傷者の日常生活の実際を講義と実演で学習する。	2 前	30	1			○
○		福祉機器活用額	講義および実習によりリハビリテーション機器の基礎知識を学ぶとともに、その利便性や必要性を体験する。	2 後	30	1	○		
○		職業関連活動学	就労支援での作業療法士の関わり方、制度について知識を深める。	3 前	30	1	○		
○		生活環境学	障害者や高齢者を含むすべての人の生活が、心身ともに健康で文化的であるようその質の向上を図っていくために、専門職として必要な知識や技能を習得する。	1 前	15	1	○		

○			言語療法学概論	言語聴覚療法についての知識を学び、言語聴覚療法の基本と論理について理解する。また、ST 対象となる疾患および障害について学ぶ。	1 前	15	1	○		
○			理学療法学概論	我が国における理学療法の歴史と現状、理学療法士の役割を学習し、理学療法のイメージを明確にする。	1 前	15	1	○		
○			地域作業療法学	地域に根ざしたリハビリテーションを実践するうえで必要となる理論的枠組みと知識をこれまでの歴史も踏まえ学習する。	2 後	30	2	○		
○			臨床見学実習	作業療法が行われている病院・施設を見学し、職業人としての準備性と専門職として意欲的に取り組む姿勢を習得する。	1 後	45	1			○
○			臨床評価実習	作業療法評価を 3 週間の臨床実習を通して包括的に体験し習得する。	2 後	135	3			○
○			総合臨床実習 I	作業療法評価および治療技術を 7 週間の臨床実習を通して包括的に体験し習得する。	3 前	315	7			○
○			総合臨床実習 II	作業療法評価および治療技術を 7 週間の臨床実習を通して包括的に体験し習得する。	3 前	315	7			○
合計				75 科目		3045 時間 (120 単位)				